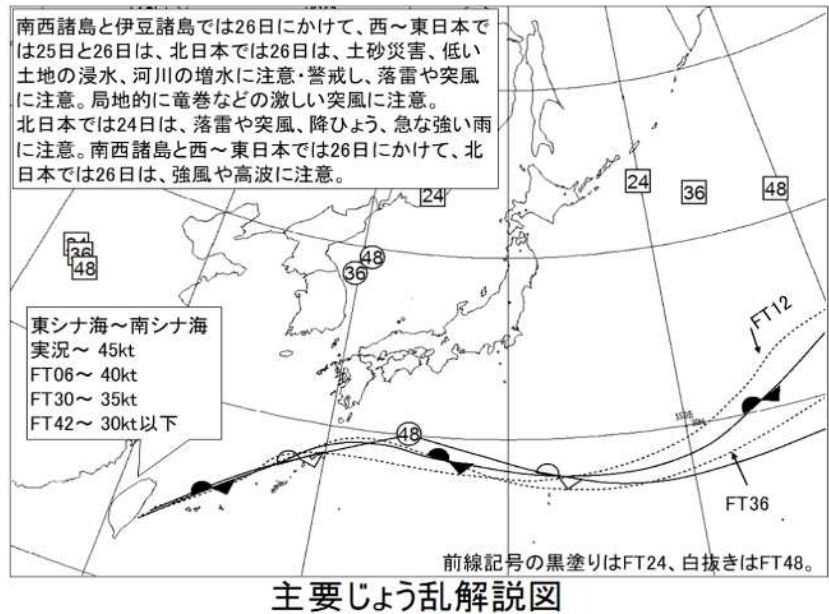


短期予報解説資料 2025年10月24日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 前線が東シナ海から奄美地方～日本の南を通り日本のはるか東へ伸びている。前線に向かう下層暖湿気の影響で、南西諸島の海上では激しい雨や非常に激しい雨を解析。雷を検知。
- ② 500hPa 5520m付近で-27℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過中。
- ③ 大陸の高気圧が日本海や東シナ海へ張り出している。①の前線との間で気圧の傾きが大きくなって、南西諸島と西～東日本ではやや強い風が吹き、波が高くしけている所がある。



2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 500hPa 5820m付近のトラフに対応して、25日夜には1項①の前線上の四国の南に低気圧が発生し、26日夜には伊豆諸島付近へ進む。また、24日夜には千島近海で高気圧が顕在化し東へ移動する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や、高気圧後面の東または南東風の影響で、前線の活動が活発となって大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と伊豆諸島では26日にかけて、西～東日本では25日と26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②のトラフは、24日に北日本を通過する。上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。北日本では24日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 500hPa 5760m付近のトラフに対応して、25日朝までに日本海西部に低気圧が発生して北東に進み、26日夜にかけて日本海北部へ進む。また、別の低気圧が26日朝までに能登半島付近に発生し、夜にかけて前線を伴って北日本へ進む。低気圧に向かつて流れ込む下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。北～東日本では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ④ 2項①の前線や低気圧、2項①の高気圧や1項③の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風の吹く所がある。また、吹送距離・吹続時間の長い東よりの強い風の影響で、うねりを伴い波が高くしけとなる所がある。南西諸島と西～東日本では26日にかけて、強風に注意し、うねりを伴う高波に注意。2項③の低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて波が高くなる。北日本では26日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間):多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで):沖縄5、伊豆諸島・四国・九州南部・奄美4、関東・東海・近畿・九州北部3m。③ 高潮(明日まで):大潮の時期。西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。